

2020 年度支部総会 時程

	時程	プログラム	担当	内容・資料・準備
第 1 部	13:00	本日の総会について	議長－奈良 B	受付名簿 資料は各 30 部
	13:10	① 支部活動方針	佐々木	基本方針案・人事案
	13:20	② 研究部局方針	古川、楠橋	方針案
	13:50	③ 事務局方針 19 年度決算案 20 年度予算案	日名 下村 下村	方針案 決算案 予算案
	14:10	④ 編集局方針	辻内	方針案
	14:25	⑤ たのスポ編集班方針	牧野	方針案
	14:40	⑦50 周年委員会	佐々木	方針案
	15:00	諸連絡・休憩	事務局等	年間活動計画、常任資料
第 2 部	15:15	記念講演 上野山さん（大阪支部）	司会（事務局）	感想用紙
	17:15	諸連絡・片づけ	事務局等	
第 3 部	18:00	交流会（新年度会）	事務局	

2020年度支部活動の基本方針案

支部50年の歴史に学び、これからの新しい同志会活動を創ろう ～今だからできる研究と組織拡大をしよう！～

1. はじめに

今年の3月、突然の救急事態宣言。そして学校の休校。何をどうしたらよいかわからずみんながフリーズしてしまいました。同志会活動でも何をしたらよいのか？、どうやって支部やブロックの研究活動を行ったらよいのか？体育同志会の存在意義は？など多岐にわたって考えざるを得ない状況が訪れました。

そんな混乱の中で、支部ニュースを発行し続けたこと、同志会活動を守るための「中止」を決断したこと、そしてオンラインを活用した「新しい形の例会」を行うことができたことは、「大阪支部の底力」を自覚してもよいと考えています。

新しい年度が始まります。しかし、まだコロナ禍は続きます。これまでの先輩たちも様々な困難を乗り越えて50年の歴史を築いてくれました。そのバトンを受け取り、走り出すタイミングは今です。ゴーマーク地点を通過し、前を向いて走り出すタイミングです。今年度、バトンをもらい実際に走り出す一年にしていきたいと思っています。

2. 支部常任、五役体制の刷新

50周年の節目を迎える今年は、人事としても新しく刷新していく時期にもなります。それに伴い新しい研究体制、組織体制、例会の在り方などを実験的に変えていく年にしていきたいです。

3. 支部会員としての自覚をこの総会で

毎年、当たり前のように支部総会が行われます。しかし、今年は一部のメンバーが顔を合わせ、そして多くの会員がオンラインでの参加となります。例年とは参加の仕方や総会の運営は違っても「今年も一年間、同志会員としてがんばるぞ」という意欲を奮い起こすという意味では同じです。

今年も新たな一年の始まりです。そして50周年に向けての取り組みもさらに進めていきたいと思います。

3. 方針

①同志会実践をとともに創る仲間を広げる。

同志会を知ってくれている「同志会親派」の方々とより一層、つながりをもって仲間を広げていきます。そのためには私たち自身が実践を創ること、そして報告して集団討議することを大切にしていきます。そして各会員が自分の職場で体育について、教育について語っていくこと、対話を重ねていくことも必要です。このことが職場づくりにもつながり、同志会実践を広げていくことにつながります。

また官製の研究会にも積極的に参加して同志会実践を広めるために、しっかりした理論を学びながら、議論していくことも必要となってくる。自身の実践経験や理論学習を語ることが仲間を広げていくことにつながるのではないだろうか。

②新しい例会の在り方、組織の在り方について考える。

今年度はコロナ禍でのスタートとなります。例会の予定も「オンライン」を視野に入れた予定を考えていく必要があります。新しい例会の形も模索していく必要があります。オンラインでの学習会では普段参加できなかった人が参加してくれたこともありました。

各ブロック主体で行ってきた「おもしろ体育スクール」も4年目になります。いくつかのブロックで参加者数も増えてきています。ブロックでの例会と支部例会が有機的にリンクして進めていく必要があります。

また、本来、同志会が大切にしてきた集団で実践をつくり、集団で議論していく例会を支部研究部例会として位置付けてきましたが、なかなか集まらなかったのが昨年度までの実態でした。内容としてはおもしろい例会になっているので、宣伝を含めて多くの会員または未会員に声をかけていきます。

さらに会員と支部活動をつなぐのが支部ニュースの役割です。編集部からの一方的な発信だけにとどまらず会員の要求やニーズを聞き取るような取り組みも積極的に行っていきます。

2020年度 大阪支部 研究局方針

2019/09/12

研究局

1. 組織

研究局長 古川（奈良） 局員 朝輝（豊能三島）

2. 研究局方針

今年度の大阪支部研究テーマは、引き続き「すべての子どもが運動文化の主体者となる授業づくり」である。これを具体化していくための研究局方針として、次の3点を示したい。

- ①同志会の研究成果を学ぶ（運動文化論、指導の系統、グループ学習、教科内容など）
- ②実践づくりを集团的に進める（支部研究部、ブロック、プロジェクト）
- ③支部研究部、各ブロック、プロジェクトで取り組んでいる研究を広げ、深める。

支部研究部、ブロック研究、プロジェクト研究において、これらの視点をふまえながら、それぞれ独自の研究を進めていってもらいたい。そして、それらの成果を7月の支部研究大会に結集させていきたい。

3. 研究活動

（1）授業・実践づくり例会「おもしろ体育スクール」

今年度も、新型コロナウイルス感染症対策をしながらの研究活動が求められる。そこで、上記に挙げた「①同志会の研究成果を学ぶ」を中心に、オンライン例会を構成した。大阪支部の豊富な人材と組織を最大限に生かした内容にしていきたい。具体的には、以下のように考えている。

- ・ほぼすべての支部例会をリモート開催とし、講義形式をとる。

【講座の予定】

第1回（12月5日）

佐々木さんのバスケットボール講座

第2回（1月30日）

安武さんの跳び箱講座

第3回（4月17日）

北河内でのマット講座（本例会のみ実技を検討）

第4回（5月23日）

幼年Pの幼年体育講座

第5回（6月26日）

辻内さんの特別支援体育講座

- ・時間は「準備10分」「講義30分」「休憩10分」「質疑応答・意見交流30分」の2コマ。

- ・リモートの発信場所は、各講師個人からか、支部で準備した会場から。（事務局の協力を仰ぐ）

各ブロック・プロジェクトにおいては、これらの講座をきっかけにして、実技例会や実践報告会を行う流れをつくってもらいたい。また、研究局としてもブロックやプロジェクトの研究活動・実践をできるだけサポートしていきたい。

（２）支部学習会

- ・「中村敏雄著作集輪読会」を開催し、同志会の研究成果を学ぶ。
- ・「たのしい体育・スポーツ」学習会を実施して、全国の同志会の研究実践や研究動向を学ぶ。

（３）民舞教室

- ・各ブロックで実施される民舞教室の、講習内容や指導方法をサポートする。

４．支部大会

今年度は北河内ブロックが主管となるが、支部大会の開催や各ブロックにおける実践の進捗状況を含め、まだまだ不明確である。そこで、今のところ例年通りの提案とはなるが、情勢を見ながら、実行委員会と常任会議で連携を取って計画を進めていきたい。

例年、分科会編成を教科別にし、分科会運営をブロックで担当する形をとっている。今年度はできれば１０月中に分科会の担当ブロック（責任者・入門提案・実践報告）を決定していきたい。

分科会	19 奈良	20 豊能三島	21 北河内
障害児体育	障害児体育P	障害児体育P	
陸上	泉州	泉州	
器械	北河内	中河内	
球技	豊能三島	佐々木 船富（授業づくりにて）	
（水泳）	（実施なし）	牧野（授業づくりにて）	
民舞&運動会	市内	民舞：北河内 運動会：研究部	
健康教育	中河内	南河内	
授業づくり	南河内	球技 水泳 マット（古川）	

また、１月には、大会基調の担当、基調報告者、記念講演を決定させていきたい。

支部研究部 2020年度活動方針案

1. 活動方針

(1) 方針

- ① 研究部員を中心に実践づくりをすすめる。
- ② 実践の検討を部内で行う中で、研究の視点や討議の柱を立てていく。
- ③ 研究部例会に実践提案・報告をし、検討・討議を行う。

(2) テーマ 「子どもも教師もやりたくなる授業づくり」

趣旨

上記のテーマでの活動3年目。昨年度は、研究部メンバーの所属校での様々な事情により「実践がおこないにくい」という難しい課題に直面した。「担当する子どもたちの実態や教師の『授業づくり』のコンセプトが作りにくく、『やってみたい実践』を実行しにくい状況」があった。それでも実践を作るというコンセプトで1年間活動し、研究部外から窪田先生の実践も含めて昨年度と同じ4本の実践報告が出され、それを支部研究例会で報告・検討することができた。コロナ禍という条件の中でも実践が工夫され、2月に予定されていた例会も、現地およびオンラインという形で6月に延期し、実践提案者も例会参加者も、目の前の実践をもとに話を進めることができた。昨年度同様今年度もこのテーマのもとに、研究部員の人数を増やしていただき、部員それぞれが実践を行う予定で①実践提案、②途中経過報告及び今後の検討、③実践結果報告等を研究部内で行い、支部研究例会に備えるという形式をとりたい。また、昨年度実現できなかった「運動会を創る」の例会を早速10月に行い、11月に予定されている支部大会の運動会分科会につなげたい。

2. 活動内容

(1) 支部三局会議で研究部会議を行う。(研究局との連携を取りながら)

① 当面の日程

9月(本日)……10月例会に向けて

10月31日……研究部例会「運動会を創る」

11月……各部員実践経過報告、検討、2月例会準備

12月……2月例会準備(中間総括)、今後の方針決定

1~2月……2月例会準備、支部大会、全国大会に向けて

3~6月……6月例会に向けて、総括等

(2) 実践づくり(実践提案、途中経過報告、結果報告)を行い、研究部で検討する。

① 研究部員1人1実践を行うことを目標とする。

② 実践教材についての研究・学習(予備知識も含めて)を具体化するために、先行実践を積極的に活用する。(そのための情報収集)

(3) 研究部例会を実施し、その中での実践報告(途中経過報告でもよい)を行う。

第1回 10月31日(土) 「運動会を創る」大保連

第2回 2月27日(日)

第3回 6月12日(土)

実質、月1回の会議では、研究・検討に限界があるため、支部研究例会を検討の場として有意義に使う。その検討のために必要な準備を行う。

3. 研究部員(活動メンバー)

研究部長 楠橋 佐利

副部長 大西 朱夏、中村 俊介

学習・連携 安武 一雄

部員 菅 耕史、笹田 哲平、

奥 正行、大瀬良 篤、志形 美実子

事務局【方針】案

1. 本年度の目標

1. 支部会員の拡大 130名
(年度当初120名)
2. 「たのスポ」拡大を5部行う
(現支部会員購読が62部52%)
3. 支部例会20名以上
～OB連携で子どもスポーツクラブ～
4. 会費の11月中・完納
5. 支部研究大会への会員参加85名
6. ブロック・OB会との連携強化
7. 健全財政化に向けて

2. 事務局員

日名・佐々木・塩田・下村・市川・宮本・濱山・神谷・出水・ポッポ（高田・井上・神原）

3. 本年度重要課題

(1) 「1. 会員拡大」について一大阪市内を中心に拡大を一

2019年度の退会者が4名、育休休会1名、入会者が6名、今年度は1名増の119名（9月8日現在）の大阪支部会員総数となりました（ニュース会員14名）。

会員拡大には、

①体育同志会（民間教育研究団体）の**教育理念**（民主教育）の拡大、

- ②**実践量**の拡大、
- ③**豊かな実践・情勢分析**（異質協同）への拡大・深化、豊かな実践へと質の深化
- ④**学習量**の拡大とその質の深化、
- ⑤**活動量**の拡大と深化、
- ⑥体育同志会の**研究財産の継承・発展・変革・創造**（主体者形成論）

という、6つの重要な意義を含んでいると考えています。

大量退職期をようやくやり過ぎた（2014年14名、2015年8名、2016年6名、2017年8名の内退職者2名、2018年6名の内退職者は2名、2019年3名の内退職者1名）とはいえ、厳しい教育情勢（経済最優先の小3-小4英語活動・プログラミングなどますますの選別／道徳教科化／キャリアパスポート実施／子どもの貧困／少ない教員数による多忙蔓延化など）の中で画一化され、パッケージ化された教育実践が横行しています。教育の王道を地で行くような、時数のかかる体育同志会実践は現代の教育情勢の中では口に合にくい（一般化しづらい）、ご当地の風土から生み出された郷土料理のようなものなのかもしれません。

しかし、この風土（地域や子どもたち）とともに創る教育に飢えている若い先生方は少なくないのではないのでしょうか（2014年5名、2015年6名、2016年14名、2017年9名、2018年度4名、2019年度6名の入会者）。そういう先生方に地道に声をかけてニーズと気力を掘り起し、会員として迎え、ともに、民主教育研究活動・運動に取り組む組織をより大きく、より強く、よりしなやかに継承・発展させたいと考えています。

今年度は初めからの入会者がありませんが、これまでの入会者のほとんどは、会員とのつながりから入会に至っています。ブロック例会や支部の活動を通して地道なつながりを作りながら、拡大していきたいと思います。特に、大阪市でも若い先生方のニーズがあるとの情報を得ています。今年度も大阪市内を中心に情報を共有し、会員拡大を進めていきたいと思います。そして、各ブロック（風土）の活動情報をつかみ、会員拡大に事務局として必要な方策を練っていきたくと思っています。

来年度以降も退会される方が皆無ではないと思いますが、「現会員がより主体的に同志会活動に参加できるように！」と前向きに、同志会活動を広げていく取り組みを進めていきたいと思っています。

【候補者】合計19名※敬称略

【豊能三島2】栗栖、大和大学学生、【北河内3】村野（四条畷）、井筒（相愛卒業生、枚方田口山小）、浅海【市内】安武さん講師の小学校【中河内9】水谷（相愛卒業生、柏原国分小）、組合関係（佐々田、池下、長尾、藤瀬、佃、辻下、勝山、端地）【南河内1】佑村【泉州2】峠（堺市小学校）、神崎【奈良1】田端

【この間の会員数増減推移】

2014年度入会者5名・退会者14名、2015年度入会者6名・退会者8名、2016年度入会者14名・退会者6名、2017年度入会者9名・退会者8名、2018年度入会者4名・退会者7名、2019年度入会者6名・退会者3名（2020年9月6日現在）

(2) 「たのスポ」購読者の拡大と継続の取り組み

2017度は6部拡大、2018年度は8部拡大で、2年連続目標（拡大5部）を上回ることができましたが、2019年度は拡大することができませんでした。

2015年3月にて『たのスポ』は月刊化を終了することになり、2015年7月からは季刊として装いも新たに新たなスタートをきることになりました。全国的にもたのスポ購読数が減り続けていましたが、2019年度で減り止まりの兆候が表れてきたということです。分かりやすく購入しやすい『たのスポハンドブック』（過去のたのスポ原稿を各領域ごとにまとめたもの）を足がかりに、購読の拡大をすすめていきたいと思えます。

支部例会でも「たのスポ」を並べて、申し込み用紙を用意し、「たのスポ」宣伝を積極的に行っていきたいと思えます。また、会員の購読率は2019年度で52%（2018年度は43%）となった。各ブロックごとに実施している「たのスポ学習会」によって、たのスポの魅力会員に広げ、あるいはたのスポの魅力会員が未購読の会員や未会員へ語るができるよう、学ぶ主体者へと力量を鍛えることにも各ブロックでご協力いただければと思えます。

大阪支部会員でもまだ未購読の方が約半数おられますので、各ブロックでたのスポ学習会とのセットで意識的に声掛けをおこなっていただけるよう、毎月の常任会議にて個人名をピックアップし、各ブロックと連携をとっていきたいと思えます。

(3) 「3. 支部実技例会参加20名以上」～OB連携で子どもスポーツクラブ～

支部例会とブロック例会が続くことによって各ブロックからの参加困難感を解消するために、2018年度からは大阪支部例会の予定日の前後2週間は各ブロック例会を開けて頂けるように各ブロックにお願いし、連携をとってきました。この効果があるとは感じられない参加者実態ではありますが、今年度も各ブロックと連携をとって、スケジュール調整によって事務局として支部例会参加者増の可能性を広げたいと考えています。また、2019年度からは、「SENSE I イベントポータル」などウェブでの例会周知を行い、参加者・会員増につながりました。今年度も事務局員で取り組んでいきたいと考えています。

また、大阪支部は子育て世代会員の多さが全国の中でも特徴的であり、5年後10年後の支部活動を支えるであろう子育て世代も支部例会に参加しやすい環境をつ

くることも大切なことだと考えています。2017年度の支部大会（中河内）でOB会員と連携をとって「子どもスポーツクラブ」を行い、2018年度は年間を通して事務局管轄で子どもスポーツクラブを実技例会ごとに企画し、一定の参加数がありました（南河内ブロック、中河内ブロック、北河内ブロック、豊能三島ブロック）。2019年度は運営をOBにお願いしましたが、前半は参加者（子ども）がなく、「予定の2週間前までに4名以上子どもの参加予約」を開催条件としました。後半は新型コロナウイルスの影響で中止としました。今年度も、可能な限り「子どもスポーツクラブ」を運営していきたいと考えています。OBからは、「現役世代と連携をとり、超困難な現代日本教育の民主教育運動を支えたい」（2019年8月、土佐朝一さんから黒井さんへの手紙より）との声もいただいています。

（4）「4. 会費の11月中完納」

12月初旬の時点で、2017年度は82名（65%）、2018年度は12月時点で107名（85%）、今年度は105名（87%）と着実に早期納入率は上がっています。

常任会議で各ブロック長との連携も取れてきていると思います。例年、未納分は12月に各ブロックで立替えていただいています。特に会員数の多いブロックは未納率の高い傾向があるため、早い段階で該当ブロックと連携を取っていきます。

また、事務局では9月に会費振込用紙を各会員の封筒に入れ、11月末で未納の方には12月に会費納入のお願いの手紙を入れています。最終の12月常任委員会をめざし、各ブロックでも重点的に会費納入に取り組んでいただければと思います。

（5）「5. 大阪支部研究大会」成功に向けて

新型コロナウイルスの影響により、2019年度の支部研究大会（豊中大会）が2020年11月21日（土）・22日（日）へ延期となりました。事務局としては、昨年度も大会参加への申し込みを月ごとに目標を立てて集約してきました。延期日程が決まったので、中長期的な視座で、会員の60%（約70名）参加を目標にし、8月で会員10%、9月で会員20%、10月で会員40%、11月で会員60%の参加確定というタイムテーブルを発信し続け、会員の方には早めの大会参加申し込みをしていただけるよう、声かけをしていきます。

また、2020年度の支部研究大会（北河内）へも、参加者組織を事務局でもこれまで通りバックアップしていきたいと考えています。

（2006年箕面88名、2007年枚方78名、2008年南河内78名、2009年市内70名、2010年中河内129名、2011年泉州95名、2012年奈良120名、2013年吹田128名、2014年北河内125名、2015年みのお全国523名、2016年南河内88名、2017年泉州89名、2018年中河内134名、2019年奈良84名）。

(6) 「6. ブロック・OB会との連携強化」について

事務局としても、多忙な中で各ブロックとの連携を取ることができていませんでした。各ブロックの風土（活動の様子、実践の特徴、会員の状況、地域の状況など）をつかみ、どのように事務局として大阪支部の活動活性化にいかせるか・つなげられるかを模索していきたいと考えています。

また、「次世代の育成」についても考えています。2018年度からは支部とブロック共催の実技例会が実施され、事務局では参加者の子どもを集めて保育を2回運営しました。2019年度はOB会員の協力を得ながらも前半は子どもの参加がなく、後半は新型コロナウイルスの影響で未開催となりました。今年度は新型コロナウイルスの影響も鑑みながら、可能な限りの「子どもスポーツクラブ」の開催などによって各ブロックの子育て世代の参加をバックアップし、5年後10年後にはブロックや支部運営に携われる会員の育成に寄与したいと考えています。

(7) 「7. 支部の健全財政に向けて」

2017年度は収入減により赤字決算（約5万円）でした。収入減の大きな原因は民舞教室からの収益減です。支出を抑えるために2018年度からは支部ニュースの自前印刷を実施し、これによって年間約10万円の支出減に成功しました。また、塩田さんの大学所有会議室（ハルカス）を三局会議で無料使用させていただいたおかげで、年間約5万円の会議費を減額させることができました。また、2020年7月は神谷さんの関大梅田キャンパスを使用させていただきました。可能な限り、会場費削減を今後も模索していきます。

2019年4月からのクロネコメール便の約2倍の郵送費値上げへの対応としては、郵便局での別納郵便の契約を行いました。これにより、郵送費の値上がりを25%増に抑えられることができました。

近年の支部財政課題である収入減が続く中、2019年度は、新型コロナウイルスの影響で、大阪支部研究大会、民舞教室が未開催となっていますので、ますますの支部財政逼迫が予想されます。備蓄金をやりくりしながらしのぎ、2021年度以降は備蓄金を増やすためにも収入増についてこの一年間で様々な方策の検討と活動を行っていかねばいけません。

4. 事務局年間活動

月	活動内容	事務局ビラ
9	・新年度会員名簿作成 ・年間パンフレット作成	会費完納の取り組み ※基本的に、ビラ数は200部(変更の時は日名より通知)
10	・年間パンフレット一次 ・年間パンフ一次封入	※たのスポ読者管理 ①年間パンフ一次(表裏)250部【 】
11	●冬大会参加呼びかけ① ・財政点検活動	10月、11月支部ニュースにビラを入れる。 ①冬大会【 】 ②年間パンフ(表裏)【 】
12	・会費完納 12月常任・五役 ・新年会企画 ●冬大会参加呼びかけ② ●関近ブロック参加呼びかけ①	①冬大会【 】 ②新春記念講演【 】
1	●関近ブロック参加呼びかけ②	①関近集会【 】
2	●関近ブロック集会(青年フェスタ) ※たのスポ継続の取り組み①	①関近集会【 】
3	・中間総括 ○実技・民舞教室の宣伝【1】 ※たのスポ継続の取り組み② ◎同志会まつり呼びかけ【①】	①同志会まつり【 】 ②中間研究集会【 】
4	・支部大会、民舞教室パンフレット作成&発送 ○実技・民舞教室の宣伝【2】 ◆中間研究集会参加よびかけ【1】 ◎同志会まつり呼びかけ【②】	①同志会まつり【 】 ②民舞教室&支部大会一次ビラ(会員&各ブロック)【 】 ③中間研究集会【 】
5	◎同志会まつり ・民舞教室パンフレット発送 ・支部大会&全国大会パンフレット発送 ◆中間研究集会参加よびかけ【2】	①支部大会一次ビラ【現地】
6	◆支部大会&全国大会参加者拡大 ・総括計画(事務局・研究局・研究部・編集局・たのスポ、ブロック、プロジェクト)	①支部大会確定ビラ【現地】 ②全国大会ビラ【 】
7 8	・総会準備 7月総括会議 全国大会に向けての準備 ◆大阪支部&全国大会参加者の集約・拡大のよびかけ ・総括文書、運動文化研究 発送	①支部大会確定ビラ【現地】 ②全国大会ビラ【 】

5. 2019年度の各機関会議、支部例会参加状況

常任会議

10月	11
11月	10
12月	13
1月	12
2月	8
3月	12
4月	9(WEB)
5月	11
6月	9
7月	9

五役会議

9月	6
10月	5
11月	6
12月	なし
1月	5
2月	6
3月	6(WEB)
4月	5(WEB)
5月	6(WEB)
6月	6(WEB)

三局会議

月	事務局	編集	研究局	研究部	たのスポ	合計
9月	7	2	1	4	6	20
10月	8	3	1	5	5	22
11月	6	3	1	4	6	20
12月	7	2	1	4	4	18
1月	4	4	1	3	5	17
2月	6	0	2	6	6	20
3月	2	0	0	0	0	2
4月						0
5月		WEB				0
6月		WEB	WEB	WEB		0
7月	5	WEB	1	5	WEB	11

130

支部例会 ()内は未会員

9月	30(1)	総会記念講演 神谷さん	交流会	15
10月	15(1)	おもしろ体育①泉州「リズム走」		
11月	14	研究部例会①		
12月	10(1)	おもしろ体育②南河内「ペース」「タグラグ」		
1月	25(1)	新春記念 吉澤さん		18
2月	12	おもしろ体育③大阪市内		7
2月	12	関西研究集会 ※大阪は12名		
2月→6月	18	研究部例会(WEB10)		
4月	中止	おもしろ体育④中河内		
5月	39	おもしろ体育⑤奈良「ドル平」WEB		
6月	22(2)	おもしろ体育⑥豊能三島「実践報告」(WEB11)		8

2020年度 編集局(部)方針(案)

1 今年度の目標

①「情報満載！役に立つ支部ニュース」

「研究部例会」「おもしろ体育スクール(支部実技例会)」など支部研究の成果をみなさんに発信します。また、「学びのすゝめ」で編集部からの情報の発信も継続します。

②「つながる大阪支部—支部会員双方向の紙面作り」

多様な書き手が紙面に登場し、大阪支部会員の相互交流が図れるようにしていきます。「たのスポ学習会」報告もなるべく新手の方にお問い合わせするとともに、「巻頭言」についても、引き続き、各ブロックの方にも執筆をお願いします。

今年度は「読者の声」コーナーを設け、支部ニュースが一方向的にならないよう、また、せっかく書いていただいた原稿に対する感想も紹介できるようにしたいと思います。

さらに、毎年お願いしていますがなかなか実現できていない「私の実践紹介」も継続して体育実践を募集します。研究部・局、各ブロックで積極的な実践紹介の情報を提供ください。

読者の声
新設

③「読みやすい紙面づくりをめざす」

毎年の課題ですが、紙面のレイアウトを工夫したり、内容を簡潔にまとめたり、読みやすい紙面づくりをめざします。

北河内Bの
ローテを7月に

2 本年度企画の概要

(1) 巻頭言

「時々刻々」に関連した話題提供を。

9月⇒(豊能三島B長) 10月~3月⇒(五役) 4月⇒(市内B)、5月⇒(中川内B)
6月⇒(南川内B)、7月(北河内B)

(2) 研究報告のページ

年3回の研究部例会、研究局主催の実技教室(5回)

(3) ブロック・OB会のページ

ブロック例会報告、私の実践紹介、支部会員の情報交流などブロックに関する記事及び、「大阪支部の軌跡 先人たちの挑戦」第2部(2005年奈良大会まで)を掲載していきます。

「競争研究」(前田)、「グループ学習研究」(澤口/牧野)「2005奈良大会に向けて」(前田)を予定

(4) 「視点・論点・ところてん」

教育情勢・社会情勢について編集部内で学び、語り、発信します。

(5) たのスポ学習会報告

同じ「たのスポ」を対称に、3回続けて各ブロックで学習会を組織。各ブロックが独自の視点で切り込み、どう紹介するか、毎回楽しみな企画で今年も継続します。

たのスポ順番 豊能三島 B(秋 1)⇒南河内 B(秋 2)⇒北河内 B(秋 3)⇒市内 B(冬 1)⇒泉州 B(冬 2)⇒中河内 B(冬 3)⇒奈良 B(春 1)⇒豊能三島 B(春 2)⇒南河内 B(春 3)⇒北河内 B(夏 1)

<u>(夏②)</u>	<u>秋号①②③</u>	<u>冬号①②③</u>	<u>春号①②③</u>	<u>夏号①</u>
泉州 B 夏 2:9 月	中川内 B:10 月 奈良 B: 11 月 豊能三島 B:12 月	南河内 B: 1 月 北河内 B: 2 月 市内 B : 3 月	泉州 B : 4 月 中川内 B: 5 月 奈良 B : 6 月	豊能三島 B: 7 月

(※: 月は原稿依頼をする月です。その月内にたのスポ学習会をお願いします)

(6) 連載企画

- ひらめき日記 (山本あ先生) ⇒ **秋桜高校の先生方に依頼予定**
- 黒井のご意見板 (終了) ⇒ **前田雅章さんをお願いしています。**
- 「学びのすゝめ」 (編集部からの情報発信)
- 「はじめてのお使い」 (幼年からの発信: 隔月 継続確定)

3 編集局 (部) 員

局部長—辻内 副部長—渡邊 部員—藤沢・松崎・田中・中林

2020年度 たのスポ大阪編集方針（案）

2020.9.12 大阪支部たのスポ編集班

【組織及び担当】

- ①メンバー 船富・武藤・山本ま・山本あ・窪田・前田・牧野
- ②たのスポ担当号及び編集責任者 2021年冬号 担当／窪田

【活動方針】

- 1) たのスポ 2021年春号（発行2021年4月）の企画。原稿〆切2020年12月30日
- 2) たのスポの編集に当たっては、編集意図を明確にした「読まれるたのスポ」を目指す。
- 3) 合評・学習会等をすると共に支部の意見も吸い上げ、それらが反映できる編集をする。

【活動方針を実現するために】

- 1) 毎回短時間でもたのスポの合評を行う。また、必要なときは特集に関するミニ学習会も適宜入れていく。
- 2) 対象読者をイメージしながら、「読まれるたのスポ」の編集に心がける。
- 3) 早めのプロット作成を心がけ、ゆとりのある編集を目指す。
- 4) 各ブロック等で行われる「たのスポ学習会」の情報を可能な限り集め、その声を編集委員会に反映させる。また、支部ニュースの「たのスポニ番煎じ」や、たのスポの「読者のページ」さらには他支部の支部ニュースでの「たのスポのページ」等を参考に読者の声をできるだけ把握するようにする。

【主旨説明】

特集1：「私たちのスポーツ文化研究」

本特集は2020年冬号「私たちのスポーツ文化研究」の続編です。同志会ではスポーツ文化研究に根ざした体育実践を大切にしています。スポーツ文化研究は教材研究の幹であり、ここが豊かでないと新しい実践は生まれないと考えます。ある教材を行う上でスポーツの歴史などの基礎知識を分かりやすく（絵や写真を入れながら）解説し、授業の予備知識として教師が持って使える内容をQ&A形式で示します。前回に取り上げた教材は、水泳・水辺文化、ラグビー、バスケットボール、ハードル、跳び箱、リレー、民舞の8教材でした。今回は、前回に取り上げられなかった鉄棒、マット、マラソン（長距離）、走り高跳び、サッカー、フラフト（アメフト）、バレーボール、剣道、運動会の8教材を取り上げます。

執筆者がQ&A形式で分かりやすく質問と回答を書いて頂きたいです。Q&Aの中には、①教材の成立がわかるもの ②現在の教材に到達した変遷史（歴史） ③授業で使える分かりやすい知識や授業プラン ④図や絵を必ず入れる。この4点に注意をして執筆をお願いします。

特集2：「今改めて、東京オリンピック、パラリンピックを考える」

新型コロナウイルスのために、東京オリパラは一年間の延期となりました。オリパラ開催も危ぶまれるのですが、現段階でも様々な問題が噴出しています。（チケット、会場、選手村、組織委員会、ボランティア、警備、宿泊先、交通、アスリートファーストなど）元々は復興五輪であるはずが、コロナを乗り越える五輪に変質しようとしています。この状況に対して、私たちがどのように向き合えば良いのかを3人の方に論じてもらいます。今、改めてオリパラの意義を問う特集にしたいと考えます。

【発行までの流れ】

特集の確定・プロット案検討1月3局～

プロット案確定～6月3局

原稿依頼 7月3局で最終確認 今の段階

原稿依頼完了 7月中旬

原稿〆切 9月30日

創文入稿 10月31日

ゲラ校正完了 11月30日

青焼き校正完了 12月中旬

発行 1月1日

たのしい体育・スポーツ」2021年 1月号台割表 特集名：【続・私たちのスポーツ文化研究】

ページ	企画	執筆内容	執筆者（候補）	担当
1	表紙1(表)			
2	表紙2(表)			
3	クローズアップPhoto	6枚		
4	「かぜ」29字×29行	編集趣旨	窪田	
5	目次			
特集1：続・私たちのスポーツ文化研究				
6～9 (4) Q&A	マット	Q&A ①執筆者の方でQ&Aをお願いします。 ②スポーツ文化研究に関するものが2/3、授業に関するものが1/3としますが、あくまでも目安です。2020年冬号の水泳(中島氏)を参考にしてください。	成島(埼玉)	武藤
10～13 (4) Q&A	鉄棒	③できるだけ、イラストや写真を使ってください。	和田(和歌山)	牧野
14～17 (4) Q&A	マラソン(長距離)	④イラストにつきましては、出来る限り創文企画のものを使ってください。大修館書店のもの(例えば『スポーツ大辞典』)は、まとめて使用許諾を取るようにしています。(前回は無料でした。)他のイラストは使用料が要り、高価なものとなっています。	狭間(和歌山)	船富
18～21 (4) Q&A	サッカー	⑤イラストを書いてもらう場合は、時間を要しますので、早い時点でお知らせ下さい。	船富(大阪)	山本あ
22～25 (4) Q&A	フラフト(アメフト)		田中(大阪)	山本あ
26～29 (4) Q&A	バレーボール		前田(大阪)	船富
30～33 (4) Q&A	剣道		小山(長野)	前田
34～37 (4) Q&A	運動会		吉澤(東京)	窪田
38～41 (4)	《実践》 投運動	実践 出来る限りイラストや写真、図表を使ってください。	奥田(兵庫)	山本ま
42～45 (4)	《実践》 民舞「花笠音頭」		中村(大阪)	前田
46～51 (6)	《実践》 タグラグビー		江島(宮城)	牧野
特集2：今改めて、東京オリンピック・パラリンピックを考える				
52～55 (4)	《論考》	コロナの状況下でのオリ・パラで何が問題となったのか？オリ・パラは何を大事に、何を指すべきなのか、など、コロナ状況下のオリ・パラの動向をふまえ、オリンピックはどうあるべきなのかについて分析をしていただく。	等々力賢治 (長野)	武藤
56～59 (4)	《論考》	コロナの状況下で、アスリートファーストの視点で何が問題となったのか。コロナの状況下でおこなわれたアスリートの活動(予防行動喚起・家トレーニング・家チャレンジetc)は、アスリートファーストの視点からどのような意義をもつか。など、コロナ状況下でのオリ・パラの動向を分析していただく。	廣畑成志(東京)	牧野
60～63 (4)	《論考》	コロナの状況下でオリンピック・パラリンピックでのメディアの果たした役割。コロナ下でのメディアの対応に対して、オリ・パラをめぐる市民の声を分析。メディアや市民の声の視点からあるべきオリンピック像を展望していただく。	河野洋(広島)	山本ま

支部結成50周年

実行委員会ニュース

2020年8月 第 1 号

実行委員会が本格的に動き出します！

7月11日（土）、支部の拡大常任会議を行いました。その後、支部結成50周年実行委員会を行いました。昨年12月に第一回の実行委員会が行われましたが、コロナの影響でストップしていました。なんとか再開をさせることができました。支部50年まで1年をきりましたが、着実に企画を考えて進めていきたいと思っています。

支部会員のみなさんがそれぞれの立場で50周年の行事にかかわっていただけたとうれしいです。

50周年記念企画のねらいは次の3つです。

①支部50周年の歩みをふりかえり、次の50周年にむけて、

自分たちが作っていく・担っていくという自覚を持つ。

何より、支部会員にとって有意義な企画になることが一番です。50周年という大きな節目を支部会員みんなで味わいたいと考えています。

②実行委員会に携わることで、自分たちの力量を高める（組織面、教育実践面）。

さまざまな企画を行うことで自分たちの力を高められます。これまで大阪支部では支部大会をブロック持ち回りでしてきました。これはほかの支部ではあまりないことです。このことで私たちに相当な企画運営能力が身についているのです。今回の50周年企画でもみなさんが主体的にかかわることで力量を高められると思っています。

③50周年行事をきっかけに同志会活動をさらに広げていく。

取り組みを通じてさらに活動の輪が広まることを願っています。

2. 組織と具体的な取り組み

※名前があがっている人は確定している人です。会員のみなさんがどこかの部局に入ります。

実行委員長	佐々木	取り組み具合
記念冊子	牧野 安武 前田 黒井 竹内	拡大版キックオフを発行 「支部50年の研究史」多くの書く手を発掘。大まかなプロットを提案。年寄り座談会など企画。
例会企画 (20年度)	古川 朝輝	今年から2年間 とくに20年度は50周年企画として例会を開催 支部の豊富な人材を生かしたリクエスト企画を検討中
支部大会 (20年度)	城尾 中村 森 市川 菅	50周年らしい支部大会に (例)民舞講座＝参加者全員が踊る閉会行事に？
支部ニュース 企画	辻内 窪田	これまでの支部ニュースをデジタル化
記念行事 (20年度)	佐々木 日名 黒井	大阪支部らしい行事を。大広間を借り切ってブロック・プロジェクトなどの出し物。レセプションも合わせた企画。食事をどうするか？
スキーフェス ティバル	安武	会議では2月に実施する方向で動き出すことが決まった。

※この企画で進むのなら、 団みがその担当の長です。実行委員会で大まかな提案をしてもらいます。

8月中に各部局で会議を行う予定です。

9月26日（土）11：00～大阪保育運動センター

実行委員会を予定しています。

※声がかかったら参加してくださいね。お願いします。

支部長	◎◎	佐々木
副支部長	◎◎	古川
全国常任		前田
研究部局	局長◎◎	古川
	局員	朝輝
	研究部長◎◎	楠橋
	部員	安武、中村、菅、大西、笹田、 奥、志形、大瀬良
編集局	局長◎◎	辻内
	局員	渡邊、藤沢、松崎、田中、中林
たのスポ編集班	班長◎◎	牧野
	班員	武藤、船富、山本ま、山本あ、前田、窪田
事務局	局長◎◎	日名
	財政部長○	下村
	たのスポ担当○	佐々木
	出版部	
	部局員	塩田、宮本、市川、神谷、出水、濱山 (ポッポ保育園)
	キックオフ編集	五役
ブロック (9月中に内部互選)	ブロック長○	豊能三島()、北河内()、南河内()、 市内()、中河内()、泉州()、 奈良()
プロジェクト (9月中に内部互選)	プロジェクト長	障害児体育()、幼年体育()、 健康教育()、 フライングフット()
関西近畿ブロック担当 サ連協担当		
支部大会(豊能三島B) (北河内B)	実行委員長	竹内 城尾

2019～24 支部人事構想案（未定：あくまで案です）

	2019	2020 50周年	2021	2022	2023	2024
支部長	佐々木	佐々木	古川	古川	古川	古川
副支部長	牧野	古川	日名	日名	日名	日名
全国常任	前田	前田				
研究局	古川	古川	楠橋	楠橋	日名	日名
部長	楠橋	楠橋	中村	中村	中村	
局員						
編集局長	辻内	辻内	渡邊	渡邊	藤沢	藤沢
副部長	渡邊	渡邊	辻内	辻内	辻内	
部局員						
たのスポ班	牧野	牧野	窪田	窪田	窪田	
班員						
事務局	日名	日名	日名	日名	下村 (日名)	下村
財政部長	下村	下村	下村	下村	朝輝	朝輝
部局員						
ブロック 豊能三島、北河内、南河内、 市内、中河内、泉州、奈良						
プロジェクト 障害児体育、幼年、健康教育、						
関近ブロック担 当、サ連協担当						
支部大会	豊能三島	豊能三島 北河内	南河内	市内	中河内	泉州
全国大会	広島	広島	埼玉			

支部大会担当ブロック

北河内→南河内→市内→中河内→泉州→奈良→豊能三島

9月12日支部総会 第35回大阪支部大会(豊中大会)へのお誘い

—8月21日豊能三島ブロック委員会(報告)—

[2020年度のブロック方針について]

- ・11月21日22日の支部大会を成功させる
- ・コロナ禍の中での実践の交流(体育的行事・体育授業・健康教育・支援児に視点を当てた実践等)
- ・教材を絞っての授業づくり(必要であれば実技や教材研究会を)

[支部大会について]

①要項の配布について(1300部印刷)

支部 100 豊能三島 500(豊中 100、吹田 100、高槻 100、摂津 100、豊能 50、竹内 50) 泉州 100
南河内 100 市内 100 中河内 100 北河内 100 奈良 50 ニュース 150

②宣伝と参加目標

予算は62名 参加目標は80名(内学生15名:神谷・竹内・前田・上野山・田中)
豊能三島 20 南河内 7 泉州 8 市内 5 奈良 5
北河内 10 中河内 10

宣伝方法 要項配布 HP 近隣支部 例会参加者(事務局)

③中止の判断

〈中止の条件〉

- ・大阪府及び近隣府県で爆発的な感染拡大がおり、常識的に開催しない方がよいと判断できる時
- ・会場校が感染者等で使用できなくなった時
- ・大阪府又は豊中市で休校またはそれに準じる状況になった時
- ・スタッフ及び提案者で感染者が出、その対象者と濃厚接触者でない人で代替できない時
- ・少人数で分科会が成立しないということを避けるため、支部コアメンバーである程度振り分けを(古川)
- ・参加者数が極端に少ない場合を想定して運営を考えておく

〈中止の判断〉

10月31日の段階で、上の条件の一つでも当てはまる場合

ただし、それ以降であっても上の条件に当てはまることが生じた場合は、その時点で中止の判断

- ・中止案内を申込者全員に直接連絡するなら、2週間前でもいい

〈中止時の対応〉

- ・提案集を送り提案集代1000円を回収⇒予算通り製本800円郵送費200円とするなら、ネット製本で行う。その方法と作業、送付代はどうするのか

④当日の役割分担

㊦受付・会計 : 竹内・下村

※受付に「たのスポ」の古いもの(安武が何十冊か持っている)を置き、一冊お土産はどうか?

①会場設営

- (案内図・会場名を貼る)
- (全体会場・分科会会場のセッティングと換気)
- (消毒薬等の設置と会場の消毒も)
- (実技会場の用具等の準備)

㊧開会・閉会の司会

①速報作成・配布 ※プロットと型を朝輝さんをお願いする関係上メインを朝輝さんに
中心スタッフ:大瀬良・田中・奥・

②分科会担当者を置くか? ※研究部である程度カバー。特に運動会分科会には必ず誰か研究部を

今後、当面の予定

9月12日支部総会 要項配布（会員はその時受け付けてもいい？バーコードから？）

9月25日（金）ブロック委員会（Zoom会議）20：00～

11月14日（土）大会直前準備（物品の確認、袋詰め、案内板等の作成、その他）於：小曾根小学校

第35回学校体育研究同志会大阪支部大会（豊中大会）

日程 2020年11月21日（土）22日（日）に決定

会場（予定） 豊中市立小曾根小学校

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
開会 基調	分科会 I-1 9:30～12:00	昼食	記念講演 13:00～14:20	分科会 I-2 14:30～17:00						
	分科会 II-1 9:30～12:00	昼食	分科会 II-2 13:00～15:30	閉会 ～16:10						

参加費 2日間 5000円（学生 **2500円**）

1日 1日目 3500円（**1500円**） 2日目 2500円（**1000円**）

○分科会構成と担当

分科会	責任者	入門提案者	実践実技提案者	実技・内容	会場候補（午前午後）	
陸上運動	泉州B 渡瀬	梅山	増田	ハードル走	教室	運動場
民舞	北河内 森	大西	林(宮本)	荒馬	音楽室	音楽室
障害児体育	障体P 北門	辻内	沖村	風船バレー等	教室	体育館
運動会・体育行事	研究部 片本	片本(研究部)	嶋賢二・吉澤潤	運動会をつくる	教室	教室
授業づくり I-①	マット 古川		古川	マット運動	体育館	
授業づくり I-②	球技 佐々木		佐々木	ボール運動(手)		体育館
器械運動	中河内B	日名	窪田	跳び箱	教室	体育館
幼年体育	幼年P 井上	塩田	日下陸矢	ボール遊び	教室	体育館
健康教育	南河内B 佐々木	藤沢	佐々木真紀子	睡眠の授業	教室	教室
グループ学習	市内B 片本	片本	山本小 2H バレー		教室	教室
授業づくり II-①	球技 船富		船富	サッカー	運動場	
授業づくり II-②	水泳 牧野		古川・牧野			教室

○分科会準備物の把握（安武・朝輝）

○必ず9月中に分科会責任者が集約して、安武まで連絡をください

○分科会で用意するものと現地に要望するものを分けて記入ください

[コロナ対策]

可能な範囲で「コロナ対策」を考え、それを「要項」にも載せていく

- ・受付時に検温（非接触電子温度計：2500円～）
- ・受付、体育館、各分科会会場（教室）にアルコール消毒薬を設置 及び換気
- ・各階の洗面所に液体石けんの設置
- ・スタッフは勿論、参加者はマスク使用
- ・実技の時、マスクを取る場合は2m以上の距離をとるようにする
- ・分科会会場（教室）では、距離をとり、マスクをして運営をする
- ・共用のお茶は用意しない（会場外の自販機で各自用意）
- ・分科会場（教室）や実技会場は使用前後に触れやすい所を中心にスタッフで消毒